

冬号

放射線技術科支部会誌

Vol. 4



川崎医療短期大学同窓会

Content 〈目次〉

年頭にあたり	末森 慎治	1
倉友会10周年記念報告		2
倉友会10周年記念講演及び記念祝賀会に参加して	天野 貴司	2
倉友会報告	小川 正人	4
放射線技術科支部報告		8
トピックス 求人・就職状況 国家試験日程 他	荒尾 信一	12
放射線技術科支部規約		13
放射線技術科支部役員一覧		15
編集後記		

年頭にあたり

放射線技術科支部

支部長 末 森 慎 治（1期生）

新年明けましておめでとうございます。皆様には御健勝のこと、お喜び申し上げます。昨年は会員の皆様にも大変お世話になり、おかげをもちまして、会の運営もスムーズに行うことができ、また、会の発展のために必要な規約等、多くの事項が決まりました。また倉友会10周年記念講演及びパーティーも順調に終了することができました。ひき続き、本年度も会誌の発行、初めての総会、役員の改選と、大きな事業を行っていかねばなりません。役員一同、一丸となって会の運営を行ってまいりますので会員の皆様の御協力をよろしくお願いいたします。最後になりましたが、総会についてのくわしい内容につきましては本年6月発行予定の会誌に掲載しますので、是非一読の程、よろしく御願いたします。

尚、今回の総会運営委員のメンバーは次の方々に決定しました。

1期生 金田 俊章, 2期生 松浦 潔行, 3期生 三村あけみ, 4期生 小橋 秀樹,
5期生 川上由美子, 6期生 伊石 浩子, 7期生 難波 隆, 8期生 田淵 隆,
9期生 国府島昌之, 10期生 王田 順久, 11期生 大角 真司, 12期生 槇野 雅章,
13期生 高野 祐介, 14期生 渡邊 伸作 (敬称略)

よろしくお願致します。

放射線技術科支部タイムスケジュール表

平成 5 年 度	平成5年11月5日	平成5年度第3回代表者会
	平成6年1月頃	会誌 Vol. 4 発行予定
	平成6年1月末頃	総会運営委員会
	平成6年2月頃	選挙管理委員会
	平成6年2月末頃	役員運営委員会
平成 6 年 度	平成6年4月頃	平成6年度第1回代表者会
	平成6年7月頃	会誌 Vol. 5 発行予定
	平成6年8月6日	放射線技術科支部第1回総会
	平成6年11月末頃	立候補者届出期限
	平成7年1月頃 平成7年2月末頃	会誌 Vol. 6 発行予定 選挙

平成5年12月20日現在

倉友会10周年記念報告

平成5年は地震，台風，冷夏と異常気象続きで当日もやはり雨でしたが，会員発表，梶原・日地両先生の特別講演，会長支部長講演，パーティーと卒業生の熱気で満ち溢れていました。倉友会では，この企画を自らのステップ，土台堅めと考えており，今後更に努力して行きたいと思えます。また，出席して頂いた梶原，日地両先生を初め松丘会の皆様に厚くお礼申し上げます。

☆☆☆ 倉友会10周年記念プログラム ☆☆☆

日時：平成5年8月7日（土）

会場：小倉ホテル 小倉北区船場町3-15

14：00～15：20	会員発表 座長	(倉友会会員グループ別報告)	
(1)自動現像機管理		小野田市立病院	重兼 博之 (4期)
(2)院内感染防止の現状		下関厚生病院	吉永 博充 (12期)
(3)胃透視のルーチン検査法		下関市立病院	林 勝典 (9期)
(4)CT頭部，腹部ルーチン検査法		戸畑共立病院	小野田敏博 (9期)
		健和会大手町病院	塩谷 正貴 (8期)
15：30～16：30	特別講演		
「診療放射線技師の卒後研修」	川崎医科大学放射線医学教室教授		
	川崎医科大学附属病院中央放射線部部長	梶原 康正 先生	
「卒業生諸君へ」	川崎医科大学附属病院中央放射線部技師長	日地 啓夫 先生	
16：30～16：45	松丘会会長講演		
「松丘会の近況と今後の展望」	川崎医療短期大学放射線技術科講師	北山 彰 君	
16：45～17：00	松丘会放射線技術科支部長講演		
「放射線技術科支部の展望」	川崎医科大学附属病院中央放射線部	末森 慎治 君	
17：00～17：15	倉友会会長講演		
「倉友会の歩み」	産業医科大学病院放射線部	小川 正人	
18：00～20：00	10周年記念パーティー		

倉友会10周年記念講演及び記念祝賀会に参加して

川崎医療短期大学

天 野 貴 司 (11期生)

倉友会発足10周年，おめでとうございます。今回は放射線技術科支部同窓会の一会員として，及び私自身の故郷での開催ということで楽しみに出席させていただきました。

放射線技術科支部発足後，早今年で14年を迎えていますが，日本全国に散らばる数多くの卒業生の方々を，支部全体として一括してまとめていくことが現状では非常に困難を呈している中，全国に先

駆け一早く九州，山口に倉友会が発足したことの重要性及び意義を，参加することにより実感することができました。倉友会が同窓会相互の横のつながりだけでなく，縦のつながりを持つための親睦の場として，また診療放射線技師としての学力向上（情報交換）の場として結成されたことを小川倉友会会長の講演（倉友会の歩み）の中から伺い知ることができたと共に，このような場を持つことの大切さを感じさせられました。また，末森放射線技術科支部長からは，放射線技術科支部の展望ということで，今後の同窓会支部の在り方や将来的な構想及び倉友会のような地域支部を全国に結成していきたいという強い想いが述べられました。十周年記念パーティーにおいては，旧友や諸先輩，後輩に久しぶりに逢うということで，懐かしい学生時代の話や仕事の話で大いに盛り上がり，そのまま二次会，三次会へと小倉の夜の繁華街へ繰り出していきました。堅苦しい会ではなく，学生時代に戻ったような印象を受ける，そんな十周年記念だったと感じています。これこそが同窓会本来の姿ではないでしょうか。会員相互の同窓会への意識の向上と何かやらなければならないという強い想いにより成し得たものだと実感しました。最後に倉友会の益々の御発展と会員の方々の御活躍をお祈りし，乱筆ではございますが，私の感想とさせていただきます。

放射線技術科同窓会の御案内

平成6年度全国放射線技師総合学術大会が佐賀県で開催されるにあたり，川崎医療短期大学放射線技術科の同窓会を下記の如く，開催したいと考えております。

記

日時：平成6年11月4日（金）

場所：佐賀東急イン

幹事

唐津赤十字病院

坂井征一郎（5期生）

江口 教久（8期生）

尚，詳細については6月発行予定の会誌に掲載予定です。

放射線技術科支部長

倉友会報告

産業医科大学病院

倉友会会長 小川 正 人（1期生）

1. 序

発足より10年、倉友会は本来の同窓会とは少し異なった形で活動を続けて参りました、方法論や内容については不十分な点もあり賛否両論とは思いますが、今後一層の努力を行い地域支部の役割、卒業生としてなすべき事等について検討して行きたいと思っています。

なお、この度皆様のご支援もあり倉友会10周年記念を無事執り行うことが出来ました。これを機会により多くの卒業生に倉友会を理解して頂くために、これまでの活動についてまとめてみましたのでご報告申し上げます。

2. 松丘会放射線技術科支部誕生

昭和55年4月、放射線技術科第一期生42名の卒業により、松丘会放射線技術科支部が誕生、その就職分布は神奈川県から福岡県でありました。14期生が卒業した現在、734名で就職地も北は北海道から南は九州鹿児島までと全国に広がっています。

思い起こすと私の就職は、当時新設の大学病院だったこともあり同期が5人いましたが、私以外は皆同じ大学出身と言うことでとても仲が良く、1人孤立していたように思われます。まさに広い海に放された稚魚のように右も左も判らず、親は誰かも知らないまま、頼る人もいないそんな状況での就職でした。

九州に就職した卒業生に限らず、1期生から3期生迄は多少なりにもそう言った不安感を持っていたのではないのでしょうか。そして松丘会放射線技術科支部初代支部長は短大に残られた井上氏が就任され、現在は末森支部長がその意志を受け継ぎ精力的に活動されています。また、先頃北山氏が松丘会会長に就任されたこともあり今後一層の飛躍が期待されます。

3. 倉友会設立

初年度、九州には1期生3人が福岡県に就職しました、私もその内の一人で大学病院に就職した関係上、学会・研究会・その他の集まりに出席する機会も多く、その度に出身大学を尋ねられるのですが殆どの方が川崎医療短期大学の名前を知らず、川崎と言う名前から神奈川県にあるのですかと聞かれるような状態でした。

翌年、2期生6名が就職し内2名は私の職場に入ったため、これまでの形見の狭い思いも薄らぎ、心強い思いがしたものでした。その後3期生が7名、4期生が5名と次第に人数も増え5期生が就職した昭和59年冬、初めて同窓生だけの懇親会を開催致しました。話題は、九州での希望する職場への就職の難しさ、就職後同窓生の少なさによる寂しさや不安に集中し、私と同様の感情を抱いていたことがひしひしと伝わって参りました。初めて会った同窓生がまるで昔からの知合いのように語り合ったことは言うまでも有りません。席上、出席者全員の一致した意見で九州に同窓会を設立し、同窓生

の結束で後輩のために川崎医療短期大学をピーアールし、巣立ってくる後輩に自分達と同じ思いをさせないように頑張っていくということになりました。まだ倉友会という名前もなく、何をどういう風にして行こうというコンセプトもなく意気込みと勢いだけで会は発足しました。

4. 倉友会の歩み

昭和55年 松丘会放射線技術科支部発足。

昭和59年 9名の卒業生が集まり、初めての親睦会を開催。(開催地 小倉)

昭和60年 会場を宿泊可能な施設へ変更し、遠方の卒業生にも声をかける。(開催地 芦屋)

昭和61年 対象者を九州・山口地区とする。(開催地 門司)

昭和62年 開催地を九州・山口の持回りとする。(開催地 下関)

昭和63年 会員発表を取り入れる。(開催地 門司)

演題名 1. 『当院における胃X線撮影とその症例』 相川 義治 (一期)

2. 『側頭骨のCT』 安井 修巳 (二期)

平成元年 会の正式名称を松丘会放射線技術科九州・山口地区地域支部『倉友会』とする。(開催地 門司)

併せて、倉友会会誌初版創刊。並びに倉友会第一回総会開催。

演題名 1. 『被検者の負担軽減に視点を置いた撮影機器』 辻野 幸代 (四期)

2. 『IV-DSA検査の現状と問題点』 平松 理光 (七期)

平成2年 第2回倉友会総会開催。倉友会会誌第2号発行。(開催地 下関)

演題名 1. 『MRIについて』 二神恵津朗 (二期)

2. 『可変型spinal-coilの製作基礎』 重兼 博之 (四期)

平成3年 第3回倉友会総会開催。倉友会会誌第3号発行。(開催地 門司)

倉友会10周年記念企画の提案があり、承認される。

演題名 1. 『MRI腹部におけるアーチファクトについて』

伊藤 弘 (四期)

2. 『FCRの臨床経験とその問題点について』

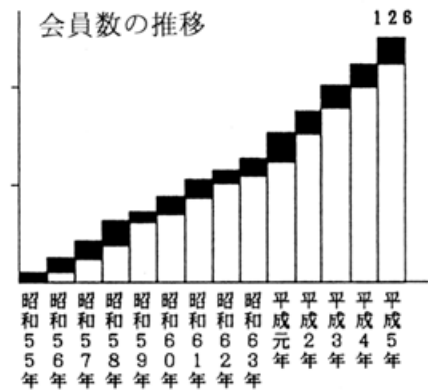
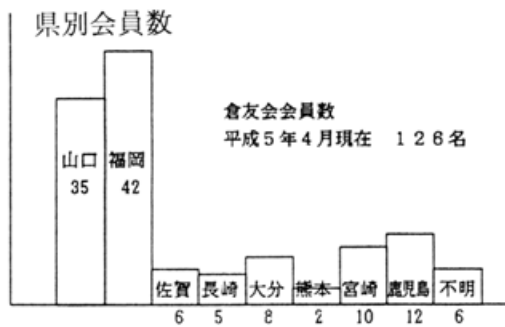
塩谷 正貴 (八期)

平成4年 第4回倉友会総会開催。倉友会会誌第4号発行。(開催地 門司)

平成5年 倉友会10周年記念開催。(平成5年8月11日 小倉ホテル)

倉友会会員動向

	新入会	転入	転出	会員数
昭和55年(1)	5	3	3	5
昭和56年(2)	8		1	7
昭和57年(3)	8	2	1	9
昭和58年(4)	12	1	1	12
昭和59年(5)	6			6
昭和60年(6)	9		2	7
昭和61年(7)	8	1	2	7
昭和62年(8)	5	1		6
昭和63年(9)	9		1	8
平成元年(10)	15	1	1	15
平成2年(11)	9	1	2	8
平成3年(12)	11			11
平成4年(13)	11			11
平成5年(14)	14			14
	130	10	14	126



5. 倉友会の将来展望

現在、診療放射線技師は大きな変革の時期を迎えています。鈴鹿医療技術大学の設立を初め、既設短大の大学への移行が数多く取り沙汰されており、川崎医療短期大学も例外ではなく近い将来4年生の大学へ移行すると聞いております。

放射線技師の社会的地位の確立を目指し、日本放射技師会では統一講習会等の技師教育や学校制度に、技術学会では論文を中心として学問にと精力的な働きを行っています。

こう言った状況より、今後大学出身の放射線技師や論文等学問的に優秀な技師が幅を聞かせることが予想され、母校が4年生の大学となっても既卒者はあくまでも短大卒であり、我々は今後の努力によりその地位を得る必要があります。

これまで倉友会の目的は新卒者の就職や再就職の際の窓口、自己研鑽等を掲げておりましたが、今後は卒業生のレベルアップを当面の目標としたいと考えています。これは10年間活動を続けてきてその重要性を認識させられたこと、如何なる目標を立てても力がなければ無理であることを痛感させられたためです。10周年記念でも述べましたが、将来的には単に九州とか山口とかに拘らず賛同される方と一緒に川崎医療短期大学卒業生のレベルアップのために頑張っていきたいと思っておりますので御協力宜しくお願い申し上げます。

6. 松丘会との二極性

松丘会はいくまでも川崎医療短期大学同窓会に位置づけられ、卒業生の動向調査や親睦会に主眼を置くべきと思われる。しかし、我々が診療放射線技師という専門職であることや同一職種であることから、悩みや問題点に共通部分が多く、これらを解決してあげるのも同窓会という仲間ではないでしょうか。松丘会放射線技術科支部と倉友会、その異なる方向性より今後同窓会の両輪となるべきであり、各地に特色のある地域支部の設立が望まれます。昨年の春、松丘会放射線技術科支部代表者会議に出席する機会がありました。代表者全員が岡山県勤務者であり同窓会本部という立場からは些か岡山偏重を感じました。卒業生686名のうち技師会で言う中四国勤務者が480名ということを考えますと中四国支部か岡山支部を設立し地域支部のリーダーとして活動され、全体会議は地域支部長か代表者で行うのが正当ではないかと思われます。また、先日広島で開催された放射線技術学会秋期学術大会に出席する機会があり、附属病院の沼口先生をはじめ多くの人にお会いでき感激しました。しかし

残念なことに広島での全国学会であったにも関わらず同窓生の出席は少なく10名不足だったのではないのでしょうか。私個人の理想は、松丘会や倉友会で大きな卒業生の輪を作り全国学会で川崎医療短期大学の同窓会を開催することで、そのためには各々が力を付け、輪をより大きなものにすることが必要であると思っています。

7. あとがき

人生色々ではありますが、大半の方は診療放射線技師を一生の仕事とされると思います。我々に望まれることは優れた社会人であることと優秀な診療放射線技師であり、診療放射線技師という道を選択し川崎医療短期大学放射線技師科卒業という履歴を持っている事を自覚し、より輝いた人生とするため己を磨きそして川崎医療短期大学や診療放射線技師という職業をより自慢できるように倉友会や松丘会を通し、広くは日本放射線技師会や技術学会で今後更に努力して行く必要があると思います。

最後に、川崎医療短期大学放射線技術科卒業生の皆様のご活躍を期待しています。

放射線技術科支部報告

平成5年度 第2回代表者会議事録(抄)

日時 平成5年7月10日(土)午後3時05分
～午後5時10分

場所 川崎医療短期大学 300号教室

出席者 支部長 末森慎治
副支部長 荒尾信一
会計 天野貴司
監査 高野小百合
代表者 1期生 松田英治
2期生 古城 剛
3期生 今井章人
4期生 人見 剛
5期生 山本裕之
6期生 引野元裕
7期生 池長弘幸
8期生 赤澤裕二
9期生 川崎晋禎
12期生 角場幸記
13期生 高野裕介
14期生 甲谷理温
運営委員長 黒住 晃
運営委員 水上 洋
(以上18名)

一. 議長選出

- 支部長より、第1期代表者松田英治氏を推薦、議長に選出。

二. 協議

(1) 第13期生代表者の人事について

- 第13期生代表者、大谷氏→高野氏に、平成5年度より変更された。

(2) 支部規約の改正について

- 支部規約第9条3の内容を資料に示すような内容に変更したいと思いますが意見

や疑問点があれば出して欲しい。

〈結論〉

- 意義なしにて、承認された。
- 総会運営規定第3条について

〈質疑〉

- 普通会員中より各期代表者が1名を選出するとあるが、これは代表者の一存で決めればよいということか。

〈応答〉

- 理想的に考えれば会員全体から代表者を選出、その中から役員を選出できれば良いが、そうすると各期1名というのもあらためて考えなければならない。

〈質疑〉

- もし各期1名選出できない場合はどうなるか。
- 各期代表者が1名を選出するということを明記した方がよいのか。

〈意見〉

- 1名というのを明記しておいた方がよい。
- 1名というのを明記した場合、後に変更するのは大変なので、明記しない方がよいのではないか。

〈結論〉

- 多数決により、1名を選出する、ということ明記する。(賛成9, 反対5)
- 放射線技術科支部旅費規定について

〈質疑〉

- 旅費規定第1条の会務とはどういったものがあるか。

〈応答〉

- 会議、支部間の交流等である。

〈意見〉

- 第6条をふまえた場合第7条の代表者会の承認をうるようにする。
- 第1条に支部長の名前を入れる。
- 年間の旅費わくを決めておいた方が良いのではないか。旅費規定内規（県内用）第3条(6)の会長は支部長に修正した方がよいのではないか。

〈結論〉

- 各規定の附則は本日よりとし、承認された。
- 放射線科支部助成金請求書の書面について

〈意見〉

- 会から助成を行うにあたり、その受領者を明確なものとするため、作成しておくべきではないか。

〈結論〉

- 承認を得られた。

(3) 会費の納入方法について

〈質疑〉

- 前年度払わなかった人に対しては？

〈応答〉

- 振込用紙に金額を明記して会誌に同封している。

(4) 地域支部設立について（アンケート案）

- アンケートについては、編集委員に一任する。

(5) 代表者会の開催曜日、時間について

〈意見〉

- 土曜日夕方まで仕事がある為平日の夕方の方がよい。
- 土曜日の5時以降の方がよい。

(6) その他について

- 支部会誌 Vol. 3 が出ました。今後支部会誌に対する意見や希望があれば編集委員までお願いします。

- 住所変更が行われていない方がおられますので、わかる方はご連絡下さい。。

平成5年度 第3回代表者会議事録（抄）

日時 平成5年11月5日（金）午後6時30分
～午後7時40分

場所 川崎医療短期大学 300号教室

出席者 支部長 末森慎治

会計 天野貴司

代表者 1期生 松田英治

2期生 三村浩朗

5期生 山本裕之

6期生 引野元裕

7期生 池長弘幸

8期生 赤澤裕二

9期生 国府島昌之

10期生 吉田耕治

12期生 角場幸記

14期生 甲谷理温

運営委員長 黒住 晃

運営委員 水上 洋

（以上14名）

一. 議長選出

- 支部長より第2期代表者・三村浩朗氏を推薦、議長に選出。

二. 協議

(1) 第15期生（平成6年3月卒）からの支部会費の徴収について

- 今年度も支部会費の徴収を平成6年1月末までに実施したいが意見や疑問点があれば出して欲しい。

〈結論〉

- 意義なしにて承認された。
- (2) 平成5年度倉友会総会（平成5年12月4日、下関）への役員派遣について
 - 昨年（末森、黒住出席）同様、今年も倉

友会から出席の要請があり、本部としても交通費だけでも援助し、代表者に行ってもらいたいと思うのだが、希望者があればお願いしたい。

- 希望者がいないようなので副支部長の荒尾氏を推薦するがいかがなものか。

〈結論〉

- 意義なしにて承認された。
- (3) 松丘会定例理事会報告について
- 平成5年9月25日 18:00～川崎医療短期大学で開催、放射線技術科支部関係
 - 松丘会の20周年事業(1995年)として寄付金、総会等を行う計画なので御協力をお願いする。
 - 卒業生名簿をコンピュータで管理しているので必要希望者は多いに利用してほしい。
 - 倉友会10周年記念式典に関して松丘会より支部長の交通費を負担していただいた。
 - 松丘会からの発送物に放射線技術科支部の発送物の同封が可能になった。
- (4) 同窓会開催報告について

[放射線技術科第14期生 (H5・3卒)]

同窓会開催報告]

日 時 平成5年10月10日(日) 17:30～

場 所 一次会 桃花苑

二次会 パッション

出席者 磯本明日香 井山 俊之 入木田由美
上野 千秋 大森 理江 小笠原光孝
岡本 彰史 奥野かおる 荳口実穂子
川口 弘美 川辺 環 甲谷 理温
杉原加誉子 高木 裕司 佃 英子
富山 艶子 稗田 友紀 深澤 広和
前田 典子 増原 晃 松岡 洋矢

水上 洋 安成 秀人 山崎 陽子
和氣 利明 渡邊 伸作
板谷 道信 (川崎医療短期大学)

(以上27名)

[放射線技術科第10期生 (H1・3卒)]

同窓会開催報告]

日 時 平成5年11月20日(土) 18:00～

場 所 一次会 瀬戸大橋温泉山幸

二次会 カラオケVIP撫川店

出席者 板垣 正子 出射 康史 伊藤 嘉浩
宇野 正和 遠藤 直人 王田 順久
大井 幸夫 大倉 秀昭 熊谷 睦美
上林 立尚 古賀 英香 清水 孝彦
貝原 健 杉野 修一 谷口 新一
銅山 恒夫 橋本 雅章 平松 克方
福満 誠一 水田 寛 室田 晃
森本 裕美 山本 美砂 吉田 耕治
吉田 光孝 吉武 貴康 難波かおり
中村 貴 夏川 浩一 桧垣 徹次
古市 哲也 松原 弘泰 細井 玲子
板谷 道信 (川崎医療短期大学)

(以上34名)

(5) 平成6年8月6日(土) 開催予定の総会について

- 総会運営規定に従い各期代表者は1名選出し総会運営委員と選挙管理委員とに配分していただきたい。期限としては12月末で平成6年1月発行の会誌 Vol. 4に各委員を掲載予定である。

〈質疑〉

- 総会運営委員の職務内容は何か。

〈応答〉

- 総会運営規定を参照していただきたい。

〈質疑〉

- 第1回の委員会はどのような形で行うの

か。

〈応答〉

- 支部運営委員が招集をかける。日程としては、平成6年1月末に総会運営委員会を、開催予定である。

〈質疑〉

- 各委員の配分方法及び役割分担の方法は？

〈意見〉

- どちらか委員を決めて交渉を行った方がよい。
- とりあえず選出を先に行った方がよい。

〈結論〉

- 多数決により、とりあえず、1名選出し後日、役割分担を行う。
- 選出期限としては、平成5年12月中頃までとする。

(6) 会誌について

- 会誌 Vol. 4 を発行予定（平成6年1月）している。原稿依頼をお願いしている方々、お忙しいとは思いますがよろしくお願い致します。
- 来年度も年2回の発行予定なので同窓会等開催の際は多に利用していただきたい。

〈質疑〉

- 会誌に対しての会員の反応はあるのか。

〈応答〉

- 文書としての反応はない。原稿はすべてこちらからお願いしている。

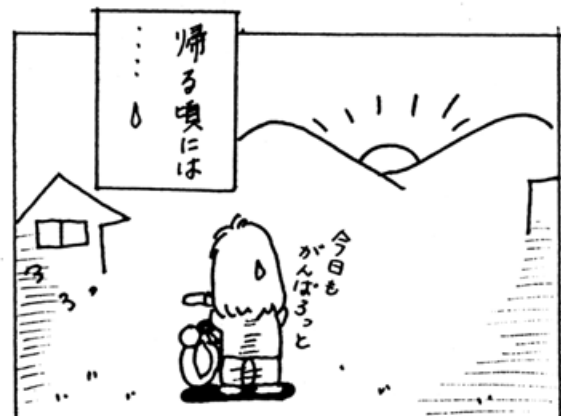
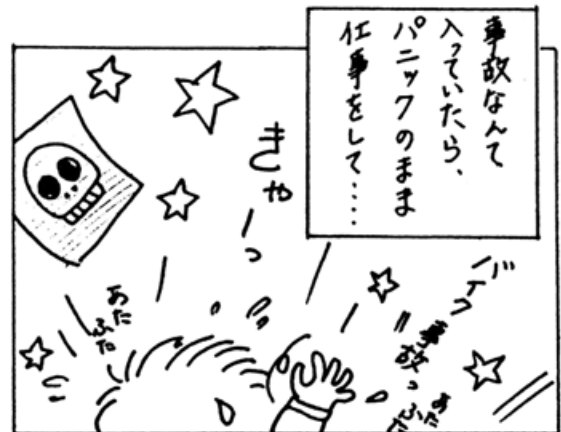
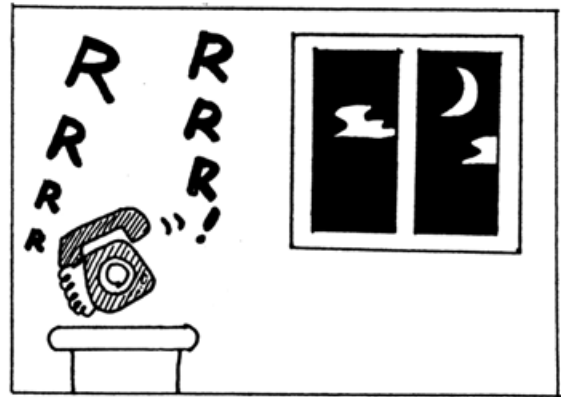
〈質疑〉

- 前回の会議で会員にアンケート調査をすることになったが。

〈応答〉

- 検討中である。

呼び出し



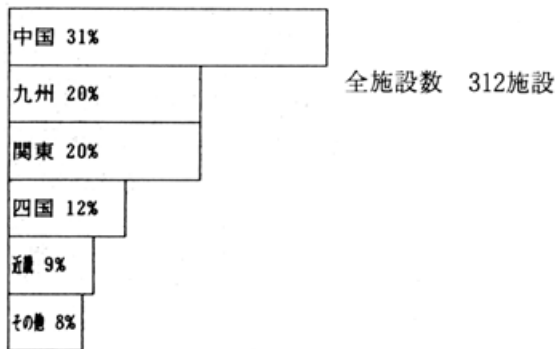
M. S. (12期生)

トピックス

[求人・就職状況]

(求人状況)

本学放射技術科第15期生(62名)に対する求人申込施設数は312施設で(11月15日現在)総求人数は約688名となっており、昨年の同時期と比較すると施設数で70施設減、求人数では139人減となっており、不景気の影響が若干落ち込んでいる。各地域別求人施設の分布は中国地方98施設(31%)、九州地方63施設(20%)、関東地方62施設(20%)、四国地方36施設(12%)、近畿地方28施設(9%)、その他(8%)となっており、分布は例年並である。



平成5年度求人申込施設状況(11月15日現在)

(就職内定状況)

卒業予定者の就職内定状況は11月15日現在で内定29名、出願中・結果待10名となっている。昨年同時期比では、内定者数13名増、出願中・結果待10名減となっており、学生の動向は、昨年より若干早くなっているようである。内定者の地方別分布は、中国地方18名、九州地方6名、近畿地方2名、関東地方2名、四国地方1名となっている。

[国家試験]

(試験日程)

第46回診療放射線技師国家試験の日程が以下のように決定した。

試験日：平成6年3月2日(水)

受験地：北海道、宮城県、東京都、愛知県、大阪府、広島県、香川県及び福岡県

合格発表：平成6年4月15日(金)午後
なお、本学学生は、香川県にて受験予定である。ぜひ全員合格を期待したい。

[入学試験]

平成6年度川崎医療短期大学放射線技術科の学生募集は、推薦入試及び一般入試にて実施される。日程は、試験科目等は以下のとおりである。なお詳細の必要な方は、短大入試係へお問い合わせ下さい。

入学定員 (推薦)	50(5)	
	推 薦	一 般
出願期間	H5.11.25~12.3	H6.1.17~1.31
試験期間	H5.12.9~	H6.2.8~2.9
選考方法	<ul style="list-style-type: none"> 小テスト(数学1) 面接 	<ul style="list-style-type: none"> 英語Ⅰ・Ⅱ 数学Ⅰ 物理、化学、生物のうち1科目選択 面接
合格発表	H5.12.17	H6.2.17

[出張報告]

平成5年12月4日(土)に倉友会(放射線技術科九州・山口支部)の第5回総会が山口県下関市にて開催されたため、放射線技術科支部役員1名(副支部長)が出席した。

総会に先立ち、会員の学術発表があり、その後総会が開催された。総会では、予算、決算、事業報告書等のほか、今後の倉友会としての運営等についての議論がなされ、懇親会へと続いた。出席者は約20数名でそれぞれ世代を越えた交友、また卒業生全体の意識レベルの向上の場として非常に盛況であった。

川崎医療短期大学同窓会（松丘会） 放射線技術科支部規約

（名称および事務所）

第1条 この支部は川崎医療短期大学同窓会（松丘会）放射線技術科支部（以下、支部という）と称し、川崎医療短期大学同窓会（以下、松丘会という）会則第12条に基づいて設置する。

第2条 この支部の事務所は川崎医療短期大学内に置く。

（目的）

第3条 この支部は、支部の会員相互の親睦を図るとともに、松丘会および川崎医療短期大学放射線技術科の発展に寄与することを目的とする。

（会員）

第4条 この支部の会員は、普通会員および特別会員とする。

(1) 普通会員

川崎医療短期大学放射線技術科卒業生

(2) 特別会員

川崎医療短期大学放射線技術科教職員およびかつて教職員であった者で入会を希望した者

（事業）

第5条 この支部は、第3条の目的達成のため次の事業を行う。

- (1) 各期、各地域支部同窓会活動の奨励および援助
- (2) 支部会員および新卒者の就職援助
- (3) 支部会誌の発行
- (4) その他、必要と認められる事項

（役員）

第6条 支部に次の役員を置く。

- | | | | |
|---------|------|----------|-----|
| (1) 支部長 | 1名 | (2) 副支部長 | 2名 |
| (3) 代表者 | 各期1名 | (4) 運営委員 | 若干名 |
| (5) 会計 | 2名 | (6) 監査 | 2名 |

2. 支部長は、総会において普通会員より選出し承認され松丘会支部長を兼任する。

3. 副支部長は、普通会員より支部長が委嘱する。

4. 代表者は、普通会員より支部長が委嘱する。

5. 運営委員および会計は、普通会員より支部長が委嘱する。

6. 監査は、総会において普通会員より選出され、他の役員を兼ねることができない。

（役員の仕事）

第7条 役員の仕事は次のとおりとする。

支部長 支部を総括する。

副支部長 支部長を補佐し、支部長に事故のあるときはその職務を代行する。

代表者 各期を総括するとともに代表者会を構成し会務の遂行にあたる。

運営委員 運営委員会を構成し会務の遂行にあたる。

会計 金銭の収支および会費徴収にあたる。

監査 支部の運営および会計財務の監査を行う。

(役員任期)

第8条 役員任期は5年とする。ただし再選は妨げない。

2. 役員に欠員を生じた時は、代表者会の議決を経て、支部長がこれを補充することができる。
3. 補充により就任した役員任期は、前任者の残任期間とする。

(会議)

第9条 この支部の会議は総会、代表者会および運営委員会とし、各必要に応じて支部長が召集する。

2. 総会は、重要事項を審議決定する他、会務の報告を受けるものとする。ただし、総会召集いとまなき時は、代表者会において決議することができる。
3. やむを得ない理由のため出席できない会員は、あらかじめ通知された事項についてのみ書面をもって表決をし又は代理人に委任することができる。この場合は出席したものとみなす。
4. 総会の議決は、役員を除く出席会員の過半数をもって決し、可否同数の時は、議長の決するところによる。
5. 総会の議長は、役員以外の出席会員中より選出する。
6. 代表者は、第6条、1項で定められた役員により構成され、支部規約の改正および事業計画など重要事項を審議する。
7. 代表者会は、役員過半数以上の出席をもって成立し、出席者の過半数の同意により議決することができる。

(経費)

第10条 この支部の運営に要する経費は、支部会費、松丘会支部援助金、寄付金およびその他の収入をもってこれに充てる。

(支部会費)

第11条 支部会費は、普通会员および特別会員より徴収する。

2. 支部会費徴収については総会において審議する。
3. 支部会費は、年度当初に所定の会費を納めるものとする。
4. すでに納入した会費は、理由の如何を問わず返還しない。

(会計年度)

第12条 支部の会計年度は、毎月4月1日にはじまり翌年3月31日に終わるものとする。

(地域支部)

第13条 地域支部は、総会の議決により設立することができる。

2. 地域支部は、支部に協力を要請し代表者会の承認を経て援助を受けることができる。
3. 1項で承認された地域支部より地域支部長を1名選任し、地域支部長は、支部の代表者を兼任す

る。

(義 務)

第14条 会員が氏名、住所および勤務先を変更した場合は、速やかに変更届を支部事務所または松丘会事務所に提出しなければならない。

(附 則)

この会則は1990年4月1日より施行する。

(附 則)

この会則は1993年5月15日より施行する。

(附 則)

この会則は1993年7月10日より施行する。

松丘会放射線技術科支部役員一覧

支部長	末森 慎治	松丘会支部長	川崎医科大学附属病院	086-462-1111
副支部長	荒尾 信一	松丘会理事	川崎医療短期大学	086-462-1111
代表者	松田 英治	第1期代議員	川崎医科大学附属病院	086-462-1111
	三村 浩朗	第2期代議員	川崎医科大学附属病院	086-462-1111
	今井 章人	第3期代議員	岡山済生会病院	086-252-2111
	人見 剛	第4期代議員	川崎医科大学附属病院	086-462-1111
	山本 浩之	第5期代議員	倉敷中央病院	086-422-0210
	引野 元裕	第6期代議員	松田病院	086-422-3550
	池長 弘幸	第7期代議員	川崎医科大学附属病院	086-462-1111
	赤澤 裕二	第8期代議員	川崎医科大学附属病院	086-462-1111
	川崎 晋禎	第9期代議員	岡山旭東病院	086-276-3231
	吉田 耕治	第10期代議員	川崎医科大学附属病院	086-462-1111
	松井 香樹	第11期代議員	岡山川崎病院	086-225-2111
	角場 幸記	第12期代議員	川崎医科大学附属病院	086-462-1111
	高野 裕介	第13期代議員	重井医学研究所附属病院	086-282-5311
	甲谷 理温	第14期代議員	川崎医科大学附属病院	086-462-1111
小川 正人	九州・山口地域支部長	産業医科大学	093-603-1611	
運営委員長	黒住 晃	第4期	川崎医科大学附属病院	086-462-1111
運営委員	水上 洋	第14期	岡山市立市民病院	086-225-3171
会計	天野 貴司	第11期	川崎医療短期大学	086-462-1111
監査	大元 浩子	第3期	倉敷記念病院	086-465-0011
	高野小百合	第11期	由良病院	0863-81-7125

編集後記

あけましておめでとうございます。年末のお忙しい中、原稿を書いて下さった皆様方、深く感謝いたします。おかげをもちまして第4号の発刊となりました。どうもありがとうございました。今後ともどうぞよろしくお願ひ致します。

さて、倉友会10周年記念事業たいへんすばらしいものでした。各期、各地域の会員の方々もおおいに同窓会、各種イベントの開催を願うと同時に会員皆様方の御理解と御協力をお願い致します。

— 御寄稿 宛先 —

〒701-01 岡山県倉敷市松島577

川崎医科大学附属病院 中央放射線部

末 森 慎 治 行

086-462-1111(2244)

1994年1月15日 発行

編 集 黒住 晃 (4期生)

満田典子 (11期生)

編集発行 川崎医療短期大学同窓会(松丘会)

放射線技術科支部

〒701-01 倉敷市松島316

☎086-462-1111(3050)

印 刷 西日本法規出版(株)

〒700 岡山市高柳西町1-23

☎086-255-2181(代)